「打つ」「打たない」は
自分で決める。

№12/ 2025.1

毎月 15 日配信
年間購読料３６００円（PDF 版）
郵送・紙版５４００円

◆連絡先◆
〒６０６-８１８６
京都市左京区一乗寺南大丸町９-２０３　ロシナンテ社
電話・ＦＡＸ　０７５（４０６）７７９１
e-mail　shikatasatoshi@gmail.com

ワクチントーク全国 2024

コロナ禍とはなんだったのか　②
この４年間を振り返って

小島勢二さん（名古屋大学名誉教授・小児科医）

ワクチンのロット差はあるのか？

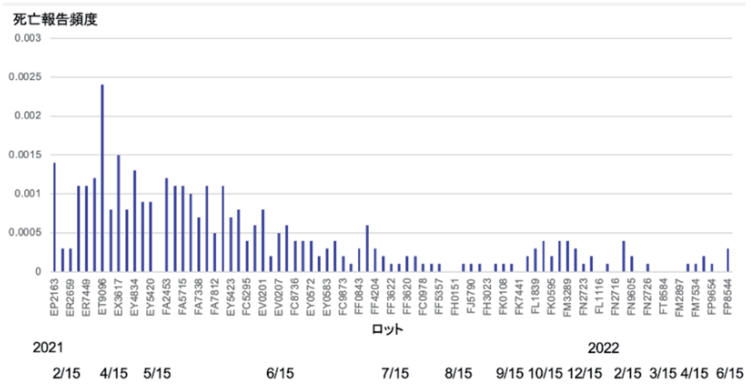
よくいわれているのがワクチンのロット差です。それは、厚労省の厚生科学審議会の資料にも出ています。日本では、2021 年の２月 15 日から医療従事者に対して先行接種が始まりました。

４月 12 日からは高齢者に対する接種が始まりました。縦軸が、各ロットの死亡報告頻度です。初期に使ったロットの死亡報告頻度が高いのですが、７月から８月になると下がっています。

どうもこの辺りでワクチンの内容が変わったのか、あるいは、死亡リスクの高い超高齢者の接種が一巡したのかもしれません。今回のデータからは、２回目、３回目、４回目、５回目、６回目の接種に、どのロットを使っていたか、また各ロットの接種回数が分かっています。

例えば２回目接種で一番接種回数が多いのは FA5765、２番目が EY5420 でした。５回目接種で一番多く接種されたのが GJ5751、次が GJ7140 でしたが、それぞれのロットでの致死率もわかります。この致死率は、最終接種者のみを対象としているので、どうしても死亡した人の割合が高くなっ

ワクチンの納入時期による死亡報告頻度の違い



ています。2回目接種で使われたロットの致死率は、0.72、0.80、0.64ときわめて高いのですが、5回目接種では0.13、0.10と、2回目接種と比べると格段に低いです。

また、それぞれ10万人年あたりの全死亡率をロット間で比較してみると、同じ2回目接種に使ったロット間でも大きな差がありました。危険であったロットとそうでないロットの間に8倍以上の差があります。これは浜松だけかなと思って、御殿場のデータをまとめてみると全く同じことが起きていることが分かりました。

もう一つ気がついたのは浜松と御殿場で使われたロットは別ものなのです。なかに共通のロット、FF4204があったのですが、このロットの致死率は、浜松と御殿場で同じでした。

ショッキングなことですが、80歳から99歳でワクチンを2021年6月7日から6月15日の間に接種された人が45人いたのですが、2024年6月30日までに41人が亡くなっていました。7月1日から15日までに接種された45人でも35人が亡くなっています。

9月以降になると、同じ80~99歳でも死亡率は下がっています。9月15日以降に打ったロットはFH3023が多いのですが、それに対して最初のうちは、EY2173やEY5420が多く接種されています。

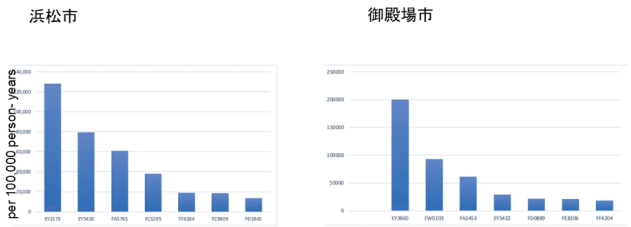
そこで、ロットによる予後の違いを検討してみました。2021年5月から6月に使われていたEY2173では、19人中17人（89%）が亡くなっています。それに対して7月から8月に接種されたFC9909では、亡くなったのは17人中8人（47%）でした。10月以降に接種されたFH3023の死亡率は、9人中4人(44%)でした。今回、1回目と2回目接種者の死亡率が高かったのはこの時期に使ったロットが危険なものが多かった可能性が考えられます。

これが浜松だけかなと気になったので、浜名湖の西に湖西市という市がありますが、この市でも6月18日から6月30日までの間に2回目ワクチンが接種された60人の高齢者のうち51人(85%)が亡くなっていました。静岡県全域で同じことが起こったことが考えられます。

2～6回目コロナワクチン接種に使用されたロットとその致死率

	ロット名 接種回数 致死率	ロット名 接種回数 致死率	ロット名 接種回数 致死率	ロット名 接種回数 致死率	ロット名 接種回数 致死率
2回目接種	FA5765 79 0.72	EY5420 70 0.80	FC5295 42 0.64	FC9909 34 0.38	EY2173 19 0.89
3回目接種	FM3289 159 0.15	FK8562 87 0.28	FN9605 61 0.16	FJ5929 46 0.22	FK6302 9 0.33
4回目接種	FP9647 194 0.19	FR1790 137 0.12	GD9135 110 0.10	FP9654 83 0.16	FN9605 47 0.17
5回目接種	GJ5751 606 0.13	GJ7140 300 0.10	GJ2675 148 0.13	GJ1836 78 0.10	400185A 17 0.41
6回目接種	GJ7140 261 0.09	GJ2675 125 0.16	HG2346 109 0.03	HG2348 77 0.06	400185A 71 0.30

2回目に接種したロット間における全死亡率の違い



コロナワクチン2回接種者の予後(Ⅰ)

2021/6/7	EY2173	生存	2021/6/9	EY5420	死亡	2021/6/11	EY5420	死亡
2021/6/7	EY5420	死亡	2021/6/9	EY5420	死亡	2021/6/12	EY5420	死亡
2021/6/7	EY5420	死亡	2021/6/9	EY5420	死亡	2021/6/12	EY5420	生存
2021/6/7	EY5420	死亡	2021/6/9	EY5420	死亡	2021/6/12	EY5420	生存
2021/6/7	EY5420	死亡	2021/6/10	EY2173	死亡	2021/6/12	EY5420	死亡
2021/6/7	EY5420	死亡	2021/6/10	EY5420	死亡	2021/6/12	EY5420	死亡
2021/6/8	EY3860	死亡	2021/6/10	EY5420	死亡	2021/6/14	EY5420	死亡
2021/6/8	EY5420	死亡	2021/6/10	EY0779	死亡	2021/6/14	EY5420	死亡
2021/6/8	EY5420	死亡	2021/6/11	EY5420	死亡	2021/6/14	EY5420	死亡
2021/6/8	EY2173	死亡	2021/6/11	EY5420	死亡	2021/6/14	EY5420	死亡
2021/6/8	EY5420	死亡	2021/6/11	EY5420	死亡	2021/6/14	EY5420	死亡
2021/6/8	EY5420	死亡	2021/6/11	EY5420	死亡	2021/6/15	EY5420	生存
2021/6/8	EY5420	死亡	2021/6/11	EY5420	死亡	2021/6/15	EY5420	死亡
2021/6/9	EY5420	死亡	2021/6/11	EY5420	死亡	2021/6/15	EY5420	死亡
2021/6/9	EY5420	死亡	2021/6/11	EY5420	死亡	2021/6/15	EY5420	死亡

1）年齢:80~99歳
2)接種日:2021/6/7~2021/6/15

ロットによる予後の違い

EY2173

2021/5/13	死亡
2021/5/13	死亡
2021/5/17	死亡
2021/5/17	死亡
2021/5/18	死亡
2021/5/18	死亡
2021/5/18	死亡
2021/5/19	死亡
2021/5/19	死亡
2021/5/19	死亡
2021/5/19	生存
2021/5/20	死亡
2021/5/20	死亡
2021/5/24	死亡
2021/6/3	死亡
2021/6/5	死亡
2021/6/7	生存
2021/6/8	死亡
2021/6/10	死亡

FC9909

2021/7/26	生存
2021/7/27	生存
2021/7/27	死亡
2021/7/27	死亡
2021/7/27	死亡
2021/7/28	生存
2021/7/29	死亡
2021/7/29	生存
2021/7/29	生存
2021/7/29	生存
2021/7/30	死亡
2021/7/30	生存
2021/7/31	死亡
2021/7/31	死亡
2021/7/31	生存
2021/8/16	生存
2021/8/24	死亡

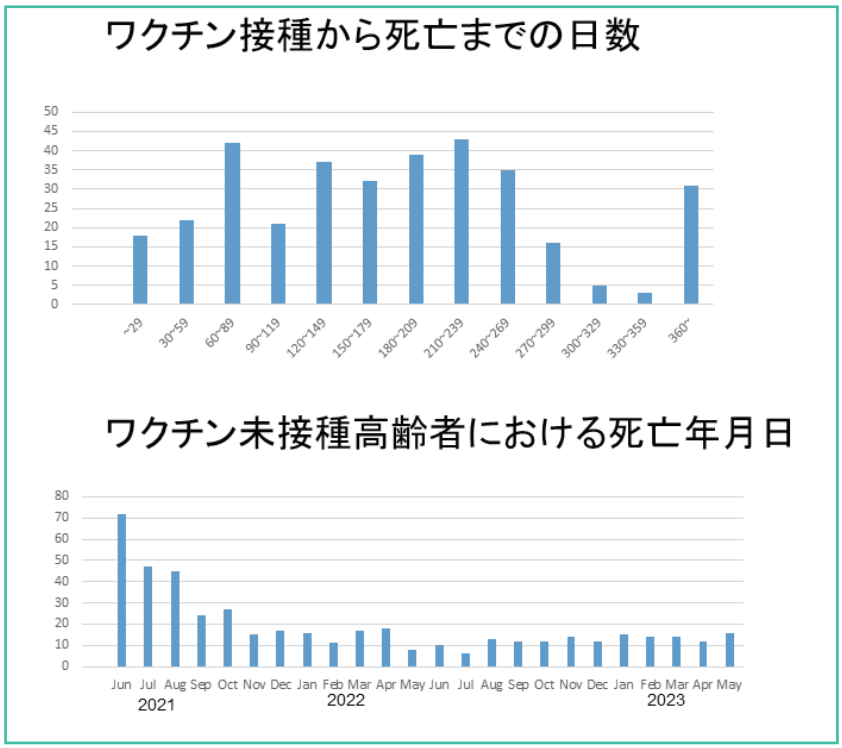
FH3023

2021/10/2	生存
2021/10/4	死亡
2021/10/14	生存
2021/10/14	死亡
2021/10/15	死亡
2021/10/16	生存
2021/10/17	生存
2021/11/1	生存
2021/11/8	死亡

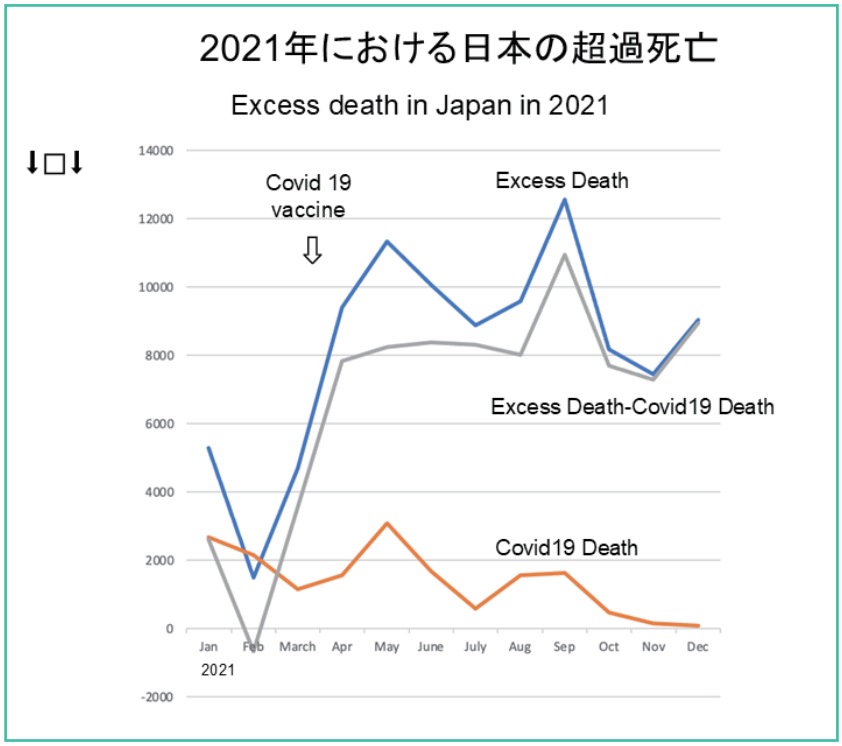
年齢:80~99歳

超過死亡の原因としてのワクチン接種

浜松市で２回目接種後に亡くなった 344 人について、接種から死亡までの日数を調べて見ました。直後に亡くなった人もいますが、ワクチンを打ってから大体３か月から 10 カ月までの間が多くて死亡の山が見られ、10 カ月を過ぎると亡くなる人は少なくなりました。高齢者の多くは、2021 年の６月から７月にかけて２回目接種を受けているので、２回目接種による死亡数の増加は、2021 年の９月以降に反映されると考えられます。浜松市の開示データにはワクチン未接種高齢者の死亡日も含まれているので、未接種者の各月の死亡数を調べてみました。2021 年９月以降における未接種者の各月における死亡数はほぼ一定でした。ワクチンの接種開始以降に死亡数の増加があれば、ワクチン接種が関与していると考えられます。



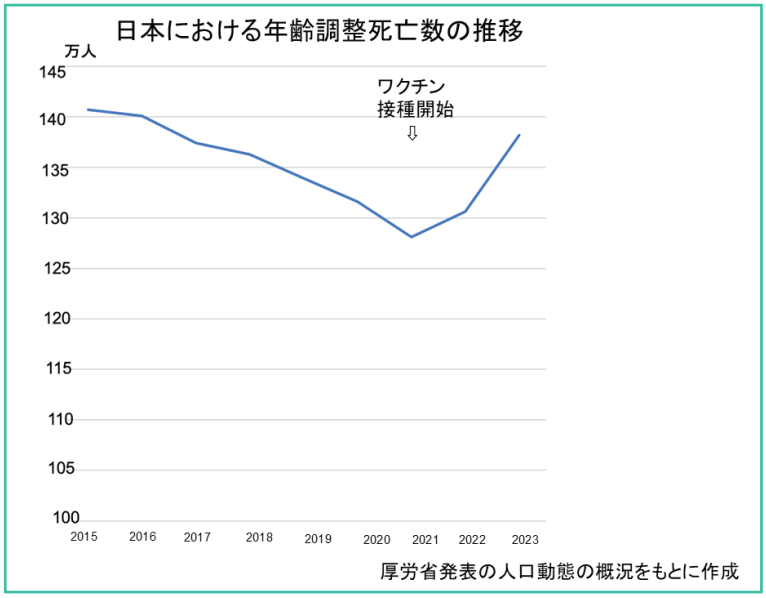
今回見られたことが浜松だけのことなのか、日本全体で起きたことなのかを考えるヒントに、2021 年における日本の超過死亡を検討してみました。このグラフは 2021 年１月から 12 月までの日本全体の超過死亡の推移を示しています。青色が超過死亡、そして橙色がコロナによる死亡者、灰色がコロナによる死亡者を除いた超過死亡を表しています。



2021 年１月は、コロナによる死亡者を除いた超過死亡が 2500 人でした。２月はコロナで亡くなった人が多くてマイナスになっています。３月になるとこれが 3500 人くらいでした。４月から高齢者にワクチンを打ち始めたら途端に、コロナ死を除いた超過死亡が、8000 人と倍になりました。その後は、一貫して 8000 人から１万人のコロナ死を除いた超過死亡が観察されています。このような動きを見ると、日本で 2021 年から超過死亡が増えた原因として、ワクチン接種の関与を考える必要があると思います。

2024 年６月の定例記者会見で、武見前厚労大臣に藤江成光さんが「昨年、日本では謎の大量死が起きているがその原因をどう考えるか？」と質問しました。厚労大臣は「人口動態の結果から原因を具体的に把握することは難しいが、高齢者の増加が大きな原因であることは明白である。その原因をさらに詳

細に解明する必要はこれ以上ないと考える。」と答えています。つまり超過死亡についてはいろいろ調べるのは、もうやめると言っているのです。高齢者の増加が超過死亡に関係しているかは、年齢調整死亡数をみれば、すぐ分かります。日本の年齢調整死亡数を 2014 年からコロナの流行が始まった 2020 年までずっと減ってきていますが、ワクチン接種が始まった 2021 年から増えています。これから、日本の超過死亡の増加は高齢者の増加だけでは説明できないことははっきりしています。



ワクチン後遺症の実態――厚労省研究班と後遺症患者の会のアンケート調査の比較

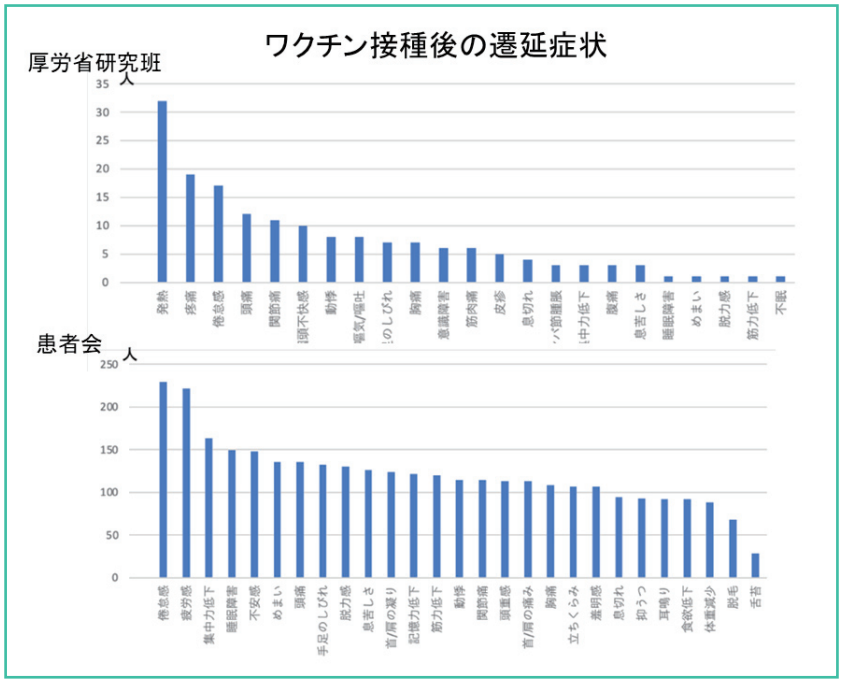
厚労省のＨＰに掲載されているＱ＆Ａです。

Q ワクチン接種後に遷延する症状（いわゆる後遺症）が生じるのでしょうか？

A 現時点においてワクチンが原因で接種後に遷延する症状（いわゆる後遺症）が起きるという知見はありませんが、接種後の遷延する症状を含めた副反応が疑われる症状について実態把握をする研究に取り組んでいます。

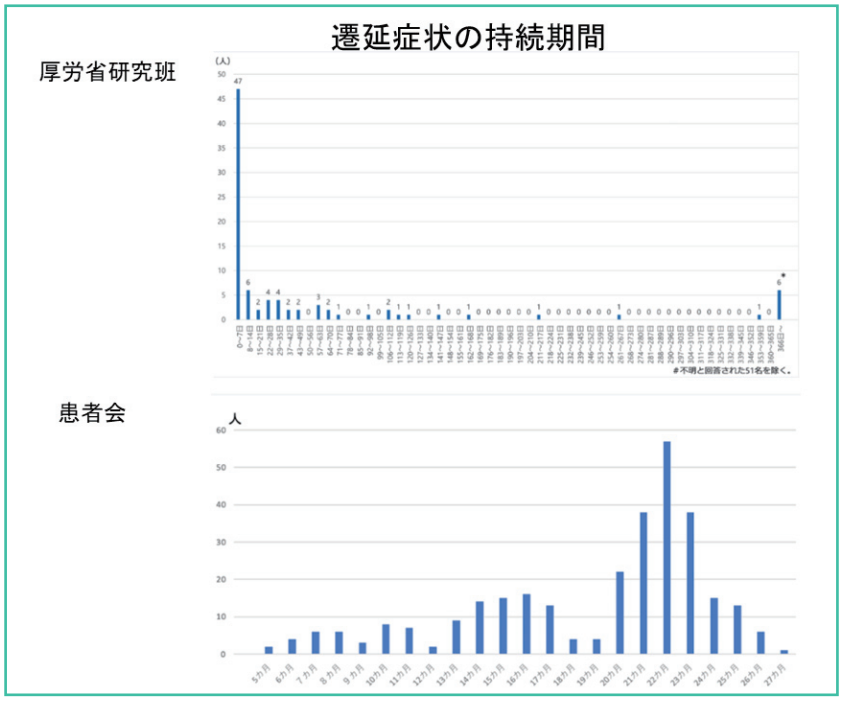
厚労省研究班の研究結果がＨＰに掲載されていますが、コロナワクチン後遺症の患者の会でも同じような内容でアンケート調査を実施しています。そこで、厚労省の研究班と患者の会のアンケート調査を比較してみました。研究班の調査は 140 人を対象としており、患者会では 320 人の会員からの調査結果が得られています。

後遺症にはどんな症状があるのですか、厚労省の研究班によると主な症状は発熱、疼痛、倦怠感、頭痛でした。それに対して患者の会のアンケートでは、倦怠感、疲労感、集中力低下、睡眠障害といった症状が多くみられました。

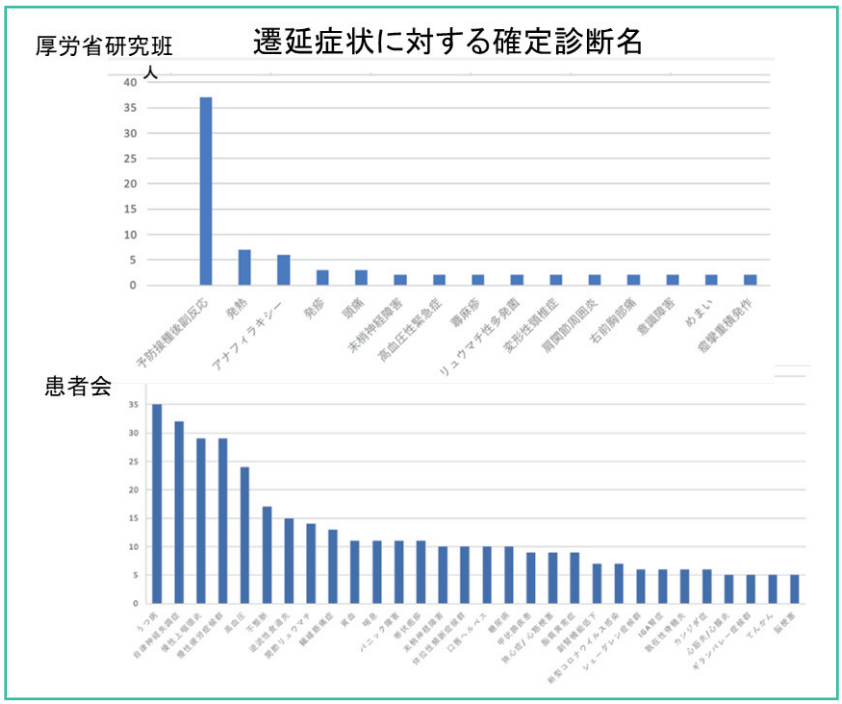


後遺症というからには事前にアンケート調査を行ってどんな症状が皆さんにあったかを調査しました。その結果、120 の症状があることがわか

りました。そこで、でアンケート調査では120の症状についてあったかどうかを尋ねています。さらに後遺症というからにはワクチンを接種したあと１カ月以上続いているものを後遺症としています。また、ワクチンを打つ前からあった症状は含めないなど、大変、厳密に調べています。そうしたところ一人あたり平均24の症状があったというのです。その結果が今回のアンケート結果です。コロナワクチン接種後の後遺症は、一つの症状だけではなくて、色々と複合的な症状がでるのが特徴だといえます。



実際、症状の持続期間は最短でも５カ月、１年以上続いている人が90%、２年以上続いている人もいました。治癒した割合は５%に満たない状況です。厚労省と患者の会のアンケート調査では症状の持続期間に大きな違いが見られました。



厚労省研究班の診断名は、予防接種の副反応、発熱、アナフィラキシー、発疹、頭痛が上位を占めています。アナフィラキシーは、ワクチンを打ったその日に起こるので、これを後遺症に含めることはできません。また、発熱、発疹、頭痛は、症状であって、診断名ではありません。厚労省のアンケート調査に医師が目を通しているかは疑わしいですね。

患者の会のアンケートで見られた診断名では、うつ病、自律神経失調症などの心の病気が一番多く見られました。次に多いのは、疲労を中心に多彩な症状が見られる慢性疲労症候群です。私が気になったのは、自己免疫疾患がずいぶん多いことです。ここでみると関節リュウマチ、シェーグレン症候群。あるいはギランバレー症候群、これらはみんな自己免疫疾患です。さらに、帯状疱疹、口腔内カンジダ症。つまり免疫が下がると出てくる感染症も含まれていました。

厚労大臣は、「コロナワクチンの後遺症は？」という質問に「研究班の報告では懸念を要する特定の症状や疾病の集中は見られなかった。現時点では問題は起きていない」と返答しています。これが国の見解です。ワクチンの後遺症は存在しないというのが国の立場です。（つづく）

お問い合わせ・お申し込みは――――――

〒606-8186
京都市左京区一条寺南大丸町９-203
電話・FAX　075（406）7791　携帯090（5642）2308
E-mail　shikatasatoshi@gmail.com

入金先
ゆうちょ銀行　郵便振替口座　０１０８０－６－４２１５１
（当座　一〇九店　４２１５１）
三菱UFJ銀行出町支店（普通）４００８０４７
名義　ロシナンテ社